

リサイクル
推進標語

分別で 明るい未来 君次第

山崎 里紗さん(猫実新田)の作品

しょうらいのゆめ

将来の夢 future dream



七重小学校 5年
長沼 里音さん



私の将来の夢は、人を笑顔にし、人を助けられる看護師になることです。

私が体調をくずして病院に行った時に看護師さんが優しく声をかけてくれました。不安でいっぱいだった私を笑顔に、そして安心させてくれた看護師という職業に魅力を感じました。

私は将来、看護師になる為に勉強し、人の気持ちも考えられるように努力したいです。そして多くの人の役に立ち、希望を与えることができる看護師になることが私の大きな夢です。

ばいばいサマ

短歌

ひと日たりと季の移ろい休みなく散りたる紅葉の路地軒げゆく
 【評】 一日が季節を変えろという緻密な感じ方が張りのある歌になった。下旬の晩秋の情景と
 うまく相応している。木枯し一番の吹く日が浮かぶ。四季の中で老いてゆく人生も見える。

お裾分け持ちくる人の優しさにわれはほっこり労をねぎらう
 好感度アップ講座を受ける朝明るき服着て紅うすくひく
 二度咲きの黄色き藤のまばらなり霜月すでに初雪かかる
 新庁舎に紅葉なりゆく樹々ながめ紙のコップのコーヒー温し
 九年間病に伏せし弟は十一月の雪の日に逝く
 忙しさを忘れて孫のチョッキ編む息子のマフラー編んでたように
 六時間かけて作りし甘酒の甘い匂いに胸なでおろす
 あの頃は高度成長長期真盛り掛け声高し派手な酉の市
 柚の種美容に良いと言う妻が一年分を集め来るなり
 寒い朝空を見上げて晴天に畑の隅に里芋囲う

俳句

一日の疲れやすらぐ柚子湯かな
 【評】 冬至(十二月二十一日)の日に柚子湯に入ると万病に良いという慣習がすでに江戸時代からあったようです。今は、柚子の香りを楽しむため柚子湯として入る人が多い。

湯豆腐の煮えしと動き始めけり
 健康といふありがたき師走かな
 行く秋を惜しむ生駒山の入りかな
 子守柿鳥の来てる朝日かな
 灯の花を咲かせ商店街師走
 客送り月のわが家となりけり
 年の暮蕎麦打つ祖父の腕力
 開閉めの音たしかむる冬仕度
 手をかけし鱈大根の深味出す
 初雪をのせて野菜の旨さかな
 まちわびし婚礼蒲団とどきけり

※12月号掲載の「朋友の逝くコスモスに送られて」の作者名に誤りがありました。正しくは直江伸男さんです。お詫びして訂正します。

短歌・俳句の作品を募集します！

皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
 俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩井4633-1 ☎0297(35)1230

今井 清 選

林 秀峰 選